

展覧会のご案内 西九州新幹線開業プレ企画展「路をたどって～交通の要衝 武雄～」開催中

西九州新幹線開業が間近に迫る武雄は、古くから交通の要衝であり、さまざまな文物が行き交いました。本企画展では、いわゆる「長崎街道」を中心に、武雄を通った路、武雄を通った物に注目して、交通の要衝、武雄の歴史を紹介しています。

会場 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

観覧料 無料

会期 令和4年8月28日(日)まで

開館時間

日曜日～木曜日：9時～17時

金曜日・土曜日：9時～18時 ※会期中無休

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、内容を変更・中止する場合があります。

Gallery Talk 学芸員による展示解説



8月6日(土)

8月14日(日)

14:00～



## 長崎街道沿いの史跡紹介 3

長崎街道は長崎から小倉を結ぶ街道として江戸時代に整備されました。武雄近隣を通る道筋には、嬉野-塚崎(現在の武雄温泉辺り)-高橋-北方-小田(現在の江北町上小田辺り)を通る塚崎道や、嬉野-塩田-成瀬(鳴瀬)-小田を通る塩田道がありました。今回紹介する史跡は塩田道沿いにあります。



▲ 追分 (北方町大字志久)

塚崎道と塩田道の分岐点。写真右の道は塚崎道。現在左の塩田道へ続く道は失われている。写真中央は国道34号線。



▲ 西岸寺 (橋町大字芦原)

江戸時代、鳴瀬宿の本陣(大名や幕府の役人等が宿泊する施設)として使用された。また、佐賀藩主が狩りを行う際の休憩所とされた。



▲ 郡境石

藤津郡と杵島郡の境に置かれた道しるべ。以下の刻銘がある。

「従是 南 藤津郡  
北 杵嶋郡」



